

2013年(H25年)
7月

No. 266

ひとはつうしん

(ホームページアドレス) <http://www2.ocn.ne.jp/~hitoha/>
(メールアドレス) hitoha@lime.ocn.ne.jp



社会福祉法人 ひとは福社会

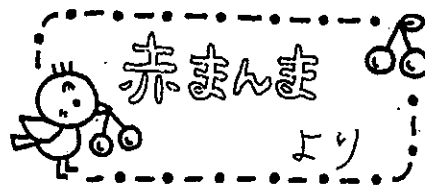
〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

- 梅雨入り宣言をされてよろしかったのでしょうかと思わせる日々が続いています。周りの田んぼの稲は、日照りに負けず日々青さが増えています。皆様いかがお過ごしでしょうか。
- 先日の中国新聞に、高嶺令ドライバーの運転免許証の自主返納数が増加している旨の記事が掲載されていました。中山間地域に暮らす私たちにとって、マイカー及び運転免許証は日々の生活の足に欠かせないものとなっています。全国的な増加は、周りの奮力めや自らどこかを潮時にとの決断でのことと思います。先日、運転免許証を返納された、ひとはと関わりの深い方とお話をさせていただく機会がありました。「事故をする前に...わしも納得しとるんじ」と話される表情に少し寂しさが伝わってきました。これまで、自分の意の赴くまま自分が思う時に、思う場所に移動が出来ていた生活様式から様変わりをしていくわけですが、自分への踏ん切りや折り合いを自身の状況を客観的に見られながら、受容されてのことだろうと思います。
- 私事ですが私の父も高齢ドライバーの筆ちゅうにあたる年齢です。また、運転への心配を感じる部分はありませんが、いつか、どこかで自分への踏ん切りというものをつけざるを得ない時がくるのだらうと思います。その時に、私や私の兄弟はどのように父に声をかけていくのだらう、どのように父は自身の状況を受容していくのだらうと重ねて考えさせられた出来事でした。
- 運転免許証のことに限らないかと思いますが、私たちの日々の生活の中に、年齢や自身の状況などから、何かをせめなければならなくなることも、何かを諦めなければならぬことがたくさんあるのだらうと思います。そのような時、家族に對しても、ひとはを利用する仲間に対しても、受容に向かうための支援や応援のあり方を考えていきたいと思っています。

(ひとはぼろこ 佐竹 正亮)



四季の宅配

今年度もやります!

箱に詰める中身は、四季折々の地域の野菜や赤まんまの自主製品などで、箱に品物と気持ちを一っぱいに詰め込んで配送しています。

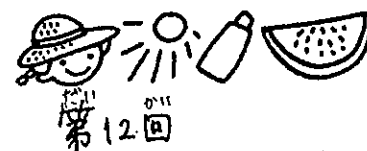
今年度は10月・12月・3月を予定しており、一つ3000円(送料別)で提供します。

お問い合わせは、ひとは作業所 益田・久家 (0826-46-2960) までよろしくお願い致します。



7月の予定

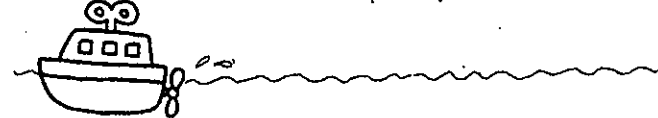
- 6(土) 劇団くすのき公演 (土)
- 13(土) パソコン教室・要約筆記講座 (土)
- 14(日) パーソナルコンピュータ教室 ① 14:00~ (日)
- シロイハコ 1個パン販売 (日)
- 20(土) セアサロン 高宮園バラツツオ (土)
- 24(水) トールペイント教室 ② 14:00~ (水)
- 13(土)~25(木) シロイハコ アクセサリー販売 (土)
- 生協ひろま 移動販売車 毎週木曜日 (土)



ひとはまつり

今年は8月31日に

開催します。
詳細は後日! お楽しみに☆



ひとには来て、2か月が過ぎました。
 ひとの仲間一人一人をみると、
 人への思いやり、優しい、明るさ、
 勇気ある行動に心動かされます。
 私は、これまでお年寄りの方のお世
 話ばかりしてきました。なので、
 仲間たちと過ごす中で最初は
 どう接していいのかわからず
 仲よくやていけるかとても不安でした。
 しかし、一人一人に近寄り、相手が
 自分のかんことをどう思っているのか等
 考えながら日々生活していくうちに、
 仲間の顔に笑顔が見えるように
 なりました。とてもうれしかったです。
 今後もしっかり声かけをして、仲よく
 やていきたいと思えます。

(赤まま 枯木 節子)

ひとのはのり

先日、きららの仲間と将来の夢の話を
 しました。彼はセブンイレブンで働き、
 ○○さんと結婚するのが夢とのこと。
 それならば、今買っているゲームのカードを
 やめて結婚指輪を買わなくては、と
 話すと、カードはやめると宣言。仕事
 中の居眠りも絶対ダメと話すと「え？
 居眠りできないならセブンはやめると
 断言。夢を簡単に諦めるのかと聞くと、
 将来の夢は寝ながら見ると切り返され
 てしまいました。○○さんの結婚や
 居眠り、そして将来の夢も居眠りの
 お供になったことに何も言えない
 私でした。

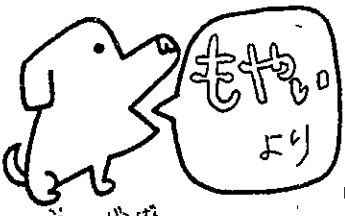
(ひと は 館 井上 美恵)

新しい仲間がふえました

4月から共同ホームのスタッフ
 になりました。小野 留偉
 です。昨年の11月頃から
 パートで日中活動センター
 の支援に入りましたが、
 まだまだ分からないことも
 多くあるので、先輩方から
 学びながらやていきたいと
 思います。よろしくお願
 いします。

広島中央特別支援学校を
 卒業し、4月よりいきがい
 でお世話になることにな
 りました。村岡 謙
 です。日々はじめての連
 続ですが、学校とは別の
 充実感を味わいたか
 ら通っています。皆さん
 よろしくお願ひします。

私は、由丸 信二です。
 年齢は45才です。好き
 な食べ物は焼肉です。
 趣味はカーブの試合の
 応援です。仕事は
 ひと は 工房で、仕事を
 覚え、明るくがんばりま
 す。これから皆様
 よろしくお願ひします。



ピアサロンで「スポーツ吹き矢」をやりました!!

ピアサロンは、障がいのある仲間が集まってサロンでやていことを
 皆で意見を由し合、て決めています。今回の企画も「スポーツ
 吹き矢」というのがあつらいいで、やてみましょうや」という参加者からの
 声で実現しました。スポーツ吹き矢は全員初体験だったので、「三つ矢の里スポーツクラブ」
 から講師の方に来ていただき、やり方を教えていただきながら行いました。
 的までの距離が6mと思、たよりも長く最初は的まで矢が届くころかとび配てしたがいざ
 やてみると矢が鋭く飛んで行き、見事的に刺さった時には歓声が上がりました。参加
 された皆さんも、「思った以上に矢が飛んでびっくりした」「的に当たった時の「プッ」という音が
 気持ち良かった」「最初はできるかどうかとび配てたけれど、ハマりそう」と感想を言われていました。
 上肢や視覚に障がいのある方も、吹き矢の筒を固定する等少しの配慮で楽しむことができ、
 ルール等を少し変えるだけで、誰でも楽しむことのできるバリアフリーなスポーツになることを
 実感しました。

「三つ矢の里スポーツクラブスポーツ吹き矢」の皆さまには、ピアサロンの主旨をご理解
 いただき、指導だけでなく会場の準備から片付けまでをしていただきました。大変良い
 機会を提供していただき、ありがとうございました。(生活支援センター せいしん 岡崎 慎治)

ささき亭の日々 ~優しい野菜たち~

ある日、ご近所さんが「たくさん頂いたのでどうぞ。白和えもおいしいよ。」
 と、夕方閉店後の裏口から声がかかる。「たけのこたくさん頂いたので使、て
 ね。いらん言うても置いてくから。」と丁寧に下ゆでされたたけのこたち。
 火曜日の朝には「○○が初物です。今日も頑張ろう」とお手紙と一緒に
 裏口に置かれた野菜。「畑でしそが自生してて、放、ておくのももた
 いたない、よからたら使、てください。」と朝一番に裏口をノックする声。
 「じゃがも頂いたんよ。使、てね。」と他の部署のスタッフ。「ここで使うのに便利
 が良いからラデュッシュ植えたよ。できたら持、てきますね。とうちのスタッフ。
 ささき亭のランチはとてもシンプルです。新鮮だからおいしいのはもちろんです
 が、それを運ぶ方の「精、い」というエッセンスがプラスされておいしさにつながると
 感じます。生産者の顔と心が見える野菜たち。1つ1つにストーリーがある野菜たち。
 ムダにしないように、大切に大切に使、ていきたいです。